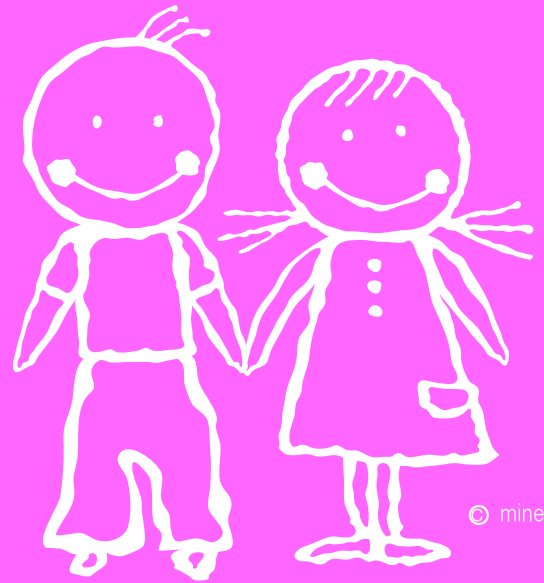


# 2009

## 年次報告書

5歳の笑顔が、未来をつくる。



©小林正典



年次報告書2009  
発行日：2009年6月  
発行人：深水正勝

■ 東京事務局  
〒112-0013  
東京都文京区音羽1-10-4 池田ビル3F  
TEL: 03-3943-6971  
FAX: 03-3943-6973  
Email: info@cyr.or.jp  
URL: http://www.cyr.or.jp

■ プノンペン事務所  
CYK(Caring for Young Khmer)  
P.O.BOX No12 Phnom Penh, Cambodia  
TEL: +855-23-210849

幼い難民を考える会（CYR）は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに生きようとする姿に触発され、1980年に設立されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。

5歳の笑顔が、未来をつくる。





©小林 正典

## 「年次報告書に寄せて」



特定非営利活動法人  
幼い難民を考える会  
代表理事 深水 正勝

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。」これは、今から約3,000年前の知者が語ったと言われる「コヘレトの言葉」という旧約聖書の有名な一説です。現代のように、すべてが大きな流れのように走っていると感じられる時には、こんな言葉を思い出すのが大切な気がします。

私たちの小さな会が始まってから、来年には何と30周年を迎えようとしています。今は、「黙する時、語る時」のどちらでしょうか。30年の歩みを思い返しなが、多く

の友人たち、恩人たちの顔を懐かしく思うとともに、先行きの不確かな将来のために、「これこそは確かに意味があった」と思われる物事を分析して、次の一步を確認したいと思います。

私も含めて多くの協力者の皆さまが、次の世代に役割をゆだねる時が近づいています。幸いなことに、カンボジアの仲間たちの中から、すぐれた後継者が既に現われています。子どもたちとの関わりも全国規模に広がる中で、頼もしく夢のあることです。

## 活動概要

「幼い難民を考える会(CYR)」は、カンボジアと日本で、幼い子どもたちと、女性の自立のために活動しています。

### カンボジア保育事業

未来を担う子どもたちに、夢と自信と平和の心を。

厳しい状況にある幼い子どもたちが、一人でも多くより良い保育を受けられるよう、環境づくり、保育者の育成、教材の開発などを、地元の人たちと一緒にしています。子どもたちは、集団生活を通じて他人を尊重すること、自分に自信を持つことを学び、平和な心を育てていきます。

⇒P4



©小林 正典

### カンボジア織物事業

生活向上と伝統文化の継承が女性たちの誇りにつながる。

農村に暮らす女性たちの経済的自立と、戦争で失われてしまった伝統文化の復興を目指し、織物研修センターを開いています。技術を身につけた女性たちは、家事や農業をしながら機を織って、家族の生計を支えています。研修修了生の作品は、カンボジアや日本で販売し、収益を事業に役立てています。

⇒P5



©小林 正典

### 日本国内事業

カンボジアの現状を伝え、支援の輪を広げていく。

活動報告会・写真展・織物販売会・募金活動などを通じて、日本での支援者を広げ、収入をカンボジアの子どもと女性のために役立てています。

⇒P6



織物販売

### カンボジアでの活動地域

2008年度は、1,601ヶ所の保育所・幼稚園・小学校で、2,917名の先生と76,476名の子どもを対象に保育支援を行いました。また、721名の女性を対象に織物の技術指導を行いました。



■ プノンペン市  
テッカボンヨ公立幼稚園、マタピアアップ保育所、スピエンクボ保育所、コー第1村保育所、第2村保育所、スバイバ保育所、ローコンバオ保育所、トロピエンスパイ公立小学校・5歳児クラス

■ タケオ州(織物技術指導)  
織物研修センター

■ カンダール州  
バンキアン保育所、プレイ外ウ保育所  
全公立幼稚園171園

■ 全州(保育教材配布)  
全公立幼稚園1,591園  
※うち研修を行った州は、タケオ、プノンペン、カンダール、コンボンチュナン、パットンバン、モンドルキリ、ラタナキリ

■ 農村地域の保育所

バンキアン、プレイウトウ保育所を開設してから17年。将来、地域の人の手で保育所を続けることを目指しています。

(1) 地域での運営費確保のために

- ① 給食費を、1日7円から12円に値上げし、徴収率は88%と目標を超えました。
- ② 村の生活向上のために少額貸付を始めて5年が経ち、利息計算などの役割を住民が担えるようになりました。

(2) 保育者の育成

- ① 保育者自身が行事の企画をしました。
- ② 他の保育所の見学実習、交流を2泊3日で行いました。
- ③ 同じ地域の公立幼稚園の先生を招いて、一緒に保育をしながら保育者が学ぶ場を作りました。



保育所の子どもたち © 小林正典

■ 都市スラムの子ども支援

首都プノンペンでは貧富の格差がますます広がっています。貧困層が多く住む地域で活動を行いました。

(1) 現地NGO「ケマラ」が運営する6保育所

マタピアップ、スピエンクポ、コー第1村、第2村に加え、新たに開設されたスパイバ、ローコンバオ保育所を支援しました。

(2) トロピエンズバイ公立小学校・5歳児クラス

- ① 学校に通う約350名を対象に朝食を支給しました。地域の人に調理をお願いすることで、家計を支えました。
- ② 先生・給食係に栄養ワークショップを行いました。
- ③ 給食費を払えない家庭のお母さんたちに、遊具「布ボール」作りをお願いし、縫製料を払って生活を支えました。
- ④ ヘルスサイエンス大学の協力を得て、歯科検診をしました。



朝食の時間 © 小林正典

■ 織物研修センターでの技術研修

- (1) 8月、第11期生9名の研修生が、緋(かすり)コースを修了しました。4名は地域の仲買人に販売を開始し、5名はCYRの注文を受けて、生地を織っています。
- (2) 地域で織物をしている女性を対象に、伝統的な模様の基礎を学ぶ研修(3ヶ月間)と、1日間のワークショップを2回実施、のべ74名が参加しました。



研修の様子 © 小林正典

■ 研修修了生のフォローアップ

- (1) 修了生を対象に、技術を上げるための研修を2回開催しました。修了生から要請のあった新しい模様を指導し、31名が意欲的に参加しました。
- (2) 製作の遅い人・研修を終えたばかりの人をフォローしました。毎月4〜5名の自宅での製作状況を確認し、より質の高い生地を織れるよう指導を行いました。
- (3) 修了生120名のうち、24名から製品を買い上げて収入を支援しました。平均収入は月\$28で、一番多い人は、月平均\$83を得ることができました。



集合研修

■ 公立幼稚園への協力

カンボジア政府が運営する公立幼稚園には、先生の研修や教材・遊具がほとんどないため、CYRが協力しました。

(1) 先生同士の情報交換の場づくり

300名の先生と4名の州幼稚園局担当者が、郡ごとに月1回集まり、情報交換や具体的な指導法の研究をしました。

(2) テッカポンヨ公立幼稚園の継続支援

CYRの保育所で働いていた保育者を採用し、給与・交通費をサポートしました。

(3) 保育者の育成と教材配布

1年前に行った保育者研修の成果を見に行き、保育資材を提供しました。



研修の成果を発揮する先生

(4) 僻地での研修

ラタナキリ州21園の先生たちに、研修を通じて教材を配布しました。

■ 全国の幼稚園の教材製作と配布

カンボジアの公立幼稚園では、政府の保育カリキュラムに沿って指導が行われています。教育省に協力してCYRが印刷した教材「なぞなぞの本」、「詩の本」、2種類の「絵のない文字表」がカリキュラムに導入されました。全国の公立幼稚園1,591園、2,425クラスに通う75,669名の子どもの教育に使われています。各州教育局担当者・郡の教育局幼稚園担当者・幼稚園の先生への研修を行い、使用状況を確認しました。



教材の目的と使い方を伝える © 小林正典

■ カンボジアでの資金確保を目指して

シルク製品の販売収益で織物研修の経費を賄うことを目指しています。

- (1) 販売会に出展した他、カンボジア事務所に併設したショップへの来店を働きかけました。ショップの売上は、織物研修センター運営費に充てることができました。
- (2) 9月から新しい人材を投入し、織りのスケジュール・資材・製作・在庫管理など、販売システムを強化しました。



シルク製品 © 小林正典

■ その他

- (1) プノンペンにあるギャラリーで、ピダン(寺院などに飾る布)の展示会が開催され、研修センターのトレーナーや、修了生の大作も展示されました。
- (2) 藍染めの経験者から指導を受け、研修センターで挑戦しています。



藍染め



トレーナー、スーン・ミットのピダン

## ■ 広報物

広報物を作成し、各種媒体を通じて寄付の呼びかけ・活動報告・イベント告知に努めました。

- ・ニュースレター  
「子どもたちの明日」発行(年4回)
- ・年次報告書の発行(6月)
- ・募金チラシの作成
- ・CYR通信(メール)を配信(月1回)
- ・mixiの活用



ニュースレター



年次報告書



募金チラシ



ホームページ

## ■ みんなで布チョッキン

～カンボジアの子どもたちへ人形とボールを～

カンボジアの子どもたちが遊ぶ人形・ボール作りを、お手伝いいただく「みんなで布チョッキン」。参加型ボランティアプログラムとして、たくさんの企業・団体・学校と連携して取り組みました。これがきっかけとなって支援者の拡大につながっています。

のべ参加者数：1,753名  
完成個数：ボール1,717個、人形640体  
募金額：1,349,405円



© 小林正典



© 小林正典

## ■ 物品販売

販売を強化して自己資金を確保し、安定した活動ができるよう努力しました。

### ● カンボジアシルク製品

■ 百貨店で販売  
高島屋東京店・新宿店・横浜店・京都店、小田急百貨店町田店に出展しました。

■ カンボジア手織り布ショップ「ラタナ」で販売  
事務所併設の直営店「ラタナ」で販売しました。

■ 全国各地で販売  
委託27件、買取19件と、全国各地で販売にご協力いただきました。

### ● CYRオリジナルカレンダー

写真家・小林正典氏によるオリジナルカレンダー「カンボジアの子どもたち」(800円)を3,000部製作・販売しました。



小田急百貨店出展



「ラタナ」ショップカード



カレンダー

## ■ イベント

カンボジアでの活動をさまざまな場で伝え、支援者の拡大に努めました。また活動資金獲得のためのチャリティ・イベントも実施・協力しました。

- ・講演・活動報告会
- ・写真展
- ・シルク製品販売会
- ・カンボジア保育所の給食試食会



小学校でのカンボジア文化紹介



活動報告会

### ■ 愛知支部「幼い難民を考える会 あいち」(CYR-A)の活動

おもな活動

- ・みんなで布チョッキン(16回、778名参加)
- ・写真展&シルク製品販売会(3回)
- ・カンボジア語講座、報告、講演会の開催



小学校で、みんなで布チョッキン



カンボジア語講座

## 国内活動一覧

### 報告会・講演会 全11回

- 5月 ● (特活)WE21ジャパンよこすか(神奈川)  
● (特活)WE21ジャパン港南(神奈川)  
● CYR報告会(東京)
- 6月 ● 法政大学(東京)
- 7月 ● 名古屋外国語大学(愛知)  
● 武蔵野大学(東京)  
● 横浜雙葉中学高等学校(神奈川)
- 8月 ● 東京外国語大学(東京)
- 9月 ● (財)日本ユニセフ協会熊本県支部(熊本)
- 10月 ● 東洋英和女学院大学(神奈川)
- 3月 ● 国際ソロプチミスト東京一麻布(東京)

### シルク製品販売 全75回

- 4月 ● 「つきじほんがんじ はなまつり」築地本願寺(東京)  
● 「カンボジアシルク展」(株)高島屋 横浜店(神奈川)
- 5月 ● 「築きな祭」築地本願寺(東京)
- 6月 ● 「アジア・アフリカフェア」ホテルアイビス(東京)
- 7月 ● 「アジアの雑貨フェスティバル」(株)高島屋 東京店(東京)  
● 「カンボジアシルク展」(株)高島屋 新宿店(東京)
- 8月 ● 「全日本自治体労働組合定期大会」(千葉)
- 10月 ● 「カンボジアシルク展」(株)高島屋 京都店(京都)
- 2月 ● 「カンボジアの手織り布 特別販売」  
(株)小田急百貨店 町田店(東京) 他

※委託販売27件、買取販売19件

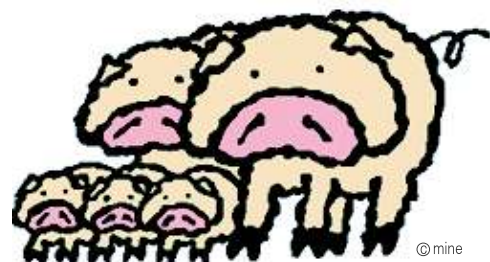
### みんなで布チョッキン 全28グループ

- 4月 ● 常栄寺(東京)  
● (特活)WE21ジャパンみやまえ(神奈川)
- 5月 ● (特活)WE21ジャパンいずみ(神奈川)  
● 取手松陽高等学校(茨城)
- 6月 ● (特活)WE21ジャパン伊勢原  
& ベビーキルトなのはな(神奈川)  
● UIゼンセン同盟埼玉支部(埼玉)  
● ゴールドマン・サックス証券(株)(東京)
- 7月 ● (特活)WE21ジャパンほどがや(神奈川)  
● (特活)WE21ジャパンみやまえ(神奈川)
- 8月 ● 天真寺(千葉)  
● 自治労福岡県本部ユース部(福岡)  
● (特活)WE21ジャパンさかえ(神奈川)  
● (株)セールスフォース・ドットコム(東京)
- 9月 ● キッコーマン(株)(東京、大阪、福岡)  
● UBS Group(東京)
- 10月 ● (特活)WE21ジャパン大和(神奈川)  
● 聖学院高等学校3年生(東京)  
● (特活)WE21ジャパンさいわい(神奈川)  
● 越谷市職員組合女性部(埼玉)  
● (特活)WE21ジャパンいずみ(神奈川)
- 11月 ● 教覚寺婦人会(静岡)  
● (特活)WE21ジャパン厚木(神奈川)
- 12月 ● 北星学園大学附属高等学校(北海道)
- 1月 ● (特活)WE21ジャパンかながわ&しゅしゅ(神奈川)
- 2月 ● 自治労関東甲地連青年女性協議会(東京)
- 3月 ● 三菱商事(株)(東京)  
● 三井住友海上火災保険(株)(東京)  
● 国際ソロプチミスト東京一麻布(東京)

### その他イベント協力 全6回

- 4月 ● 「花まつりコンサート」百観音明治寺(東京)
- 9月 ● 「カンボジア支援活動パネル展」  
名古屋駅地区振興会(愛知)
- 10月 ● 「カンボジアの子どもたち 写真展」  
野外民族博物館 リトルワールド(愛知)
- 12月 ● 「写真家達によるチャリティー展」  
フォトボランティアジャパン(東京)
- 1月 ● 「グレゴリオ聖歌による待降節第4主日のミサと小コンサート」  
CANTATE DOMINO(東京)  
● 「ワールド・カルチャー・フェスティバル」  
アサヒビール(株)、花王(株)、キッコーマン(株)(東京)

※「バザー」CYRチャリティー・バザーグループ 全8回



©mine

## 2009年度 おもな新規活動計画

### カンボジア

#### ■ 保育

カンボジア政府は、保育カリキュラムや公立地域幼稚園を新しく作るなど、就学前教育に力を入れています。その結果、就学率が向上し、小学校の中退率が減っています。CYRはこの方針に賛同し、ひとりでも多くの子どもが幼児教育を受けられるよう協力します。

#### ● 公立地域幼稚園に協力

2009年から、3年間で450ヶ所の公立地域幼稚園が10州に開設されます。CYRは、全園に文字教材「子音パズル」、絵本「はははのはなし」、紙芝居「ソピアップちゃんとかみなりちゃん」と人形・布ボールを提供します。教材は、各州教育局担当者に研修した後、配布されます。



©小林正典

#### ● 僻地公立幼稚園の研修

カンボジアの中でも首都から遠く、教育支援が届きにくい僻地(パイリン州、コッコ州、カエプ州)約40ヶ所の公立幼稚園を対象に研修・教材配布を行い、子どもが遊びながら学べる環境をつくります。講師は教育省幼稚園局とCYRが担当します。



©小林正典

#### ■ 織物

#### ● 巡回織物技術研修

要請のある地域で、1~2週間の織物技術研修を6回開催します。



©小林正典

### 日本国内

2010年2月、設立30周年を迎えます。団体設立の趣旨や事業目的を振り返り、30周年記念イベントの検討や冊子を発行します。

#### 設立30周年に向けて

記念イベントを開催し、冊子を発行します。

#### 新会計ソフト導入

会計ソフトを導入し、業務の効率化を図ります。

#### シルク製品の販売強化

百貨店への出展を増やし、収入の向上に努めます。

#### 支援者への感謝と報告

分かりやすい活動説明を心がけ、丁寧な対応に努めます。

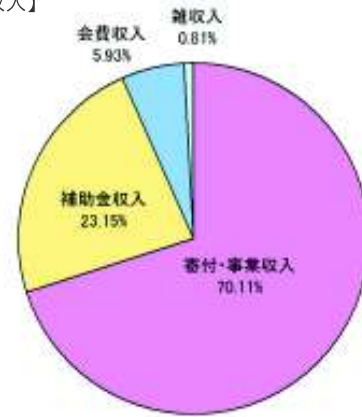
■ 収支決算書・予算書

I 収入		
科目	2008年度決算額	2009年度予算額
1 期初活動準備金	15,907,974	26,567,079
2 会費収入		
会費収入	4,780,550	3,800,000
賛助会費収入	146,500	100,000
会費収入合計	4,927,050	3,900,000
3 寄付・事業収入		
寄付・募金収入	42,033,025	31,000,000
事業収入		
織物販売収入	11,409,483	7,000,000
ワークショップ収入	1,828,879	2,000,000
カンボジア事務所事業収入	2,979,828	3,000,000
事業収入計	16,218,190	12,000,000
寄付・事業収入合計	58,251,215	43,000,000
4 補助金収入		
補助金収入合計	19,237,000	20,290,000
5 雑収入(換算差益含む)		
雑収入合計	673,032	300,000
当期収入合計	83,088,297	67,490,000
災害救助引当金の戻入	2,000,000	0
合計	100,996,271	94,057,079

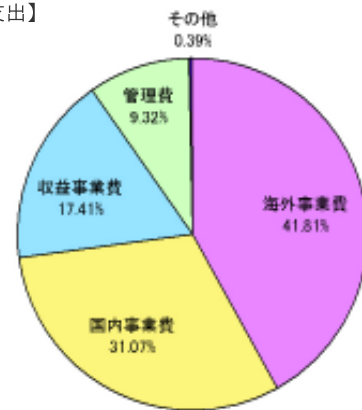
II 支出		
科目	2008年度決算額	2009年度予算額
1 事業費		
国内事業費		
国際理解事業費	1,217,884	1,020,000
広報費	2,454,186	2,510,000
織物等関係費	11,927,889	9,030,000
事業旅費通信費	1,027,100	1,760,000
国内事業人件費	19,454,324	24,420,000
国内事業費計	36,081,383	38,740,000
海外事業費		
保育事業費	10,806,065	16,000,000
織物事業費	937,222	2,540,000
旅費通信費等	3,188,024	4,210,000
海外事業人件費	7,456,263	9,400,000
現地職員保母等人件費	6,771,002	8,940,000
海外事業管理費	731,816	1,160,000
減価償却費	1,225,353	1,530,000
海外事業費計	31,115,745	43,780,000
事業費合計	67,197,128	82,520,000
2 管理費		
旅費交通費	587,490	910,000
会議・渉外費	185,717	220,000
通信運搬費	556,737	720,000
備品消耗品費	1,709,389	1,680,000
賃借料等	3,427,001	2,860,000
銀行他手数料・雑費	471,757	500,000
管理費合計	6,938,101	6,890,000
3 租税公課		
租税公課合計	70,000	70,000
4 補助金返還金		
補助金返還金合計	86,209	100,000
5 雑損失		
雑損失合計	137,754	200,000
当期支出合計	74,429,192	89,780,000
次期活動準備金	26,567,079	4,277,079
合計	100,996,271	94,057,079

決算レート: \$1=99.23 \$1=4,000リエル

【収入】



【支出】



■ 収支計算書・予算書 補足説明

2008年度決算

- 保育事業では、補助金・指定寄付収入を受け、幼稚園の教材を製作し、全国配布・研修を行いました。都市貧困層が多い地域で2つの保育所を開設しました。
- 国境近郊での活動が増え、悪路に備えて四輪駆動車を購入し、減価償却を行いました。
- 現地の物価高騰で給食・人件費等が値上がりし、支援を呼びかけ寄付収入が増えました。
- 2009年2月、東京事務所を文京区音羽に移転しました。
- 東京に職員1名(総務・経理担当)を採用しました。職員給与規定を改定しました。

2009年度予算

- 前年度に得た活動準備金を、海外・国内事業で有効に生かします。
- 教育省と共に、12州の公立幼稚園、新公立地域幼稚園で保育研修・教材配布を行います。
- 織物事業では、1年の研修コースに加えて、地域での巡回研修を始めます。

■ 貸借対照表

単位:円	
科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	89,091
郵便振替	447,242
通常貯金	128,008
普通預金	18,110,152
定期預金	4,908,751
貯蔵品	138,046
前渡金	257,998
立替金	266,503
現地事業貸付金	942,685
特別会計預金	56,000,000
敷金	828,571
流動資産合計	82,117,047
2 固定資産	
車両運搬具	5,930,212
無形固定資産	525,000
固定資産合計	6,455,212
資産合計	88,572,259

2009年3月31日現在	
単位:円	
科目	金額
II 負債の部	
1 流動負債	
預り金	725,874
流動負債合計	725,874
2 固定負債	
退職給与引当金	4,908,751
減価償却引当金	2,370,555
固定負債合計	7,279,306
負債合計	8,005,180
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	69,907,974
当期正味財産増減額	10,659,105
正味財産合計	80,567,079
負債及び正味財産合計	88,572,259

換算レート: \$1=99.23 (2009年3月31日 三菱東京UFJ銀行TTS)  
\$1=R4.000

■ 監査報告書

監 査 報 告 書

1. 監査事項  
「特定非営利活動法人幼い難民を考える会」2008年度(2008年4月1日～2009年3月31日)事業及び会計決算について

2. 結果報告  
監査の結果、事業は適正に実施され、また会計決算については、収支計算書、貸借対照表及び財産目録を請願簿、証憑書類と対照精査し、正確に処理されていることを認める。

2009年4月25日

監 事  
大川 暁一郎  
森本 隆博

## 支援者

### 会員（2009年3月末現在）

- 会員:534名
  - 正会員 421名
    - 一般会員:401名
    - 学生会員:14名
    - 団体会員:6団体
  - 賛助会員:113名
- 寄付者:922名

### 2008年度 補助金収入内訳 (50音順)

- 国際ボランティア貯金 10,175,000円
- 社団法人日本遊技関連事業協会 1,000,000円
- 全日本自治体労働組合関東甲地区連絡協議会 2,420,000円
- 全日本自治体労働組合熊本県本部 600,000円
- 全日本自治体労働組合国際局 242,000円
- 全日本自治体労働組合福岡県本部 2,300,000円
- 特定非営利活動法人アース仏教国際協力ネットワーク 1,000,000円
- 特定非営利活動法人エファジャパン 1,000,000円
- 日本労働組合総連合会 500,000円

### 2008年度 寄付者 (10万円以上、50音順)※個人を除く

- 朝日生命保険相互会社
- あすてボランティア
- えん21
- 岡地証券株式会社
- 幼い難民を考える会 あいち
- カトリック麻布教会
- 株式会社クリアストーン
- 株式会社サハダイヤモンド
- 株式会社ローソン
- CANTATE DOMINO
- キッコマン株式会社
- 工藤巖記念基金
- グループ五つの星
- ゴールドマン・サックス証券株式会社
- 財団法人あすて
- 財団法人毎日新聞大阪社会事業団
- CYRチャリティ・バザーグループ
- 枝光学園幼稚園
- 聖心女子大学同窓会宮代会
- 全国友の会
- 全日本自治体労働組合福岡県本部ユース部
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- 東南アジア保育支援実行委員会
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン厚木
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンかながわ
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン港南
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンさいわい
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンさかえ
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンざま
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンひらつか
- 百観音明治寺
- 株式会社フェリシモ/mama.fスマイリー基金
- フォトボランティアジャパン
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 野外民族博物館 リトルワールド
- 有限会社トレジャークエスト

## 認定NPO法人

### ご寄付が寄付金控除の対象となります。

CYRIは、2006年3月1日より「認定NPO法人」として認定されました。これは、組織運営・事業活動が適正であるとして国税庁が認定するものです。全国に約36,000団体あるNPOのうち、2009年3月現在、93団体のみが認定されています。これにより、皆さまからのご寄付は寄付金控除の対象となります。

## 新聞で紹介されました

### カンボジアへ贈る遊具材料



内戦終結から十五年以上経過したカンボジアの子どもたちを支援するため、遊具の材料になる布を切ったり縫ったりするボランティア活動に六日、福山女学園大千種区教育学部の学生百六十人が参加した。同学部一年生が対象の一人個論の講義として、NPO法人「幼

### 学生160人が布切り

### 千種・福山女学園大 授業で難民支援

難民を支援する会」が続けている参加型のボランティア「みんな布チョッキン」を取り入れた。遊具不足に悩むカンボジアの子どもたちに人形とボールを贈る活動。日本で材料になる布を必要な形状に切り、工費なしで縫製する女性たちの元へ届ける。女性たちの収入や自立にも貢献しているという。授業では、同法人あいち支部（中区栄）の高木正彦支部長が講師となって要領を説明。学生たちは家庭か

ら持ち寄った衣類や布を人形の服になるように型紙に沿ってカット、束ねて糸でとめる作業を楽しみながら進めた。同学部の成田沙穂さん（18）は「自分も妹も縫ったシャツなので、子どもたちに縫んでもらえたのうれしい」と話していた。出来上がった布は、カンボジアで完成品にされ、九月ごろには保育施設の子どもたちの遊具になる。

中日新聞 2008年6月8日

### 元気な笑顔、支えてほしい

国際遊具支援の愛護者であるフォトジャーナリスト、小林正典さん（50）は、カンボジアの子どもたちへの給食支援を続けているNPO法人「幼い難民を考える会」を支援する。昨年、同法人が実施した「幼い難民を支援する」活動で、同国への支援に元気づけられた。小林さんは「子どもたちを支えることに、その笑顔から元気を感じてほしい」と話している。（中山雄一）

### カレンダーの写真 今年も

フォトジャーナリストの小林正典さん NPOが発行

「幼い難民を支援する」活動で、同国への支援に元気づけられた。小林さんは「子どもたちを支えることに、その笑顔から元気を感じてほしい」と話している。（中山雄一）

### カンボジアの子どもたち支援



CYRIのカレンダー（1、2月）で笑顔を見せるカンボジアの子どもたち

毎日新聞大阪 2008年12月5日

### その他

- 新聞
  - 朝日新聞
  - 茨城新聞
  - 神奈川新聞
  - 中日新聞
  - 日経新聞
  - 毎日新聞
  - 読賣新聞
- ※合計13件で紹介されました。

- ラジオ
  - NHKラジオ 深夜便 ないとエッセー
  - J-WAVE JK RADIO-TOKYO UNITED

- テレビ
  - NHK おはよう日本「ワールドレポート」

# CYRについて

## 役員・職員

2009年3月末現在

代表理事 深水 正勝  
 副代表理事 交野 政博  
 理事 佐藤 和子  
 高木 正彦  
 田中 周子  
 深津 高子  
 松岡 玲子  
 山田 暢子  
 監事 大川 晴一郎  
 鈴木 雅博

職員 東京事務局 5名(事務局長 峯村 里香)  
 カンボジア事務所 13名(内、日本人2名)

## アドバイザー

上田 広美(東京外国語大学准教授)  
 岡田 知子(東京外国語大学准教授)

## 理念

# Children, Our Future

今日の子どもたちの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちが、タイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで、少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会(CYR)の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する態勢に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



©小林 正典

## 活動履歴

1980 . . . '85 . . . '90 . . . '95 . . . '00 . . . '05 . . .

タイ

難民キャンプでの保育・職業訓練

国境被災村での保育活動

スマトラ沖地震・津波被災支援

カンボジア

農村での保育活動

織物技術訓練

都市貧困地域での保育活動

公立幼稚園協力

## 入会のご案内

パートナーとして、一緒に活動を支えてください。

年会費 10,000円 (学生 3,000円 団体30,000円)

- ・カンボジアシルクのマスコットをプレゼントします。
- ・活動紹介DVDをプレゼントします。
- ・ニュースレター「子どもたちの明日」をお送りします。
- ・総会、イベント案内をお送りします。

